

「将来に夢を持てる、

元気な長浜市」

をめざして

平成23年長浜市議会第1回定例会において、藤井市長は平成23年度の所信表明を行い、市政運営の基本理念を表明しました。

市政運営の基本理念

昨年3月、私は市民の皆さんの厳粛な負託を受け、市長に就任しましてから、早いもので1年が経過しようとしています。この間、合併による新たなまちづくりを進めるため、「長浜市基本構想」の改定をはじめ、市民の一体感の醸成や6支所単位の「地域まちづくりプラン」の作成などに、鋭意取り組んできたところです。



とりわけ、社会経済情勢が厳

しさを増す中であつて、市民の皆様が不安や痛みを受けとめながら、「湖北の新しい1ページ」を開くという熱い思いで、「責任感」、「使命感」、そして「緊張感」を持って、12万市民の皆様が、長浜に住んでよかつたと評価いただけるよう、全力で取り組んでいきます。

至誠、勤労、分度、推譲

かつて、低成長と人口減社会における財政再建に果敢に挑戦だ、江戸後期の農学者である二宮尊徳が唱え、実践した「至誠」、「勤労」、「分度」、「推譲」の4つの精神こそが、地域経営の要であると考えています。「至誠」とは真心であり、長浜市に例えれば「クリーンでオープン・開かれた市政」の推進です。「勤労」は、もちろん一生懸命努力して働くことです。「分度」は、適度とか限度です。市に当てはめ

ば、「歳入に見合った歳出、規模にあつた行政」ということになります。「推譲」は、利益を分け合うとか子孫に財産を残すといった意味です。私たちの地域は、尊徳の唱えた国づくりの実践として、20年、50年先の子孫の世代の将来を見据えた地域づくり・まちづくりの為の「手段」として、合併を行ったのです。

対話型行政の推進

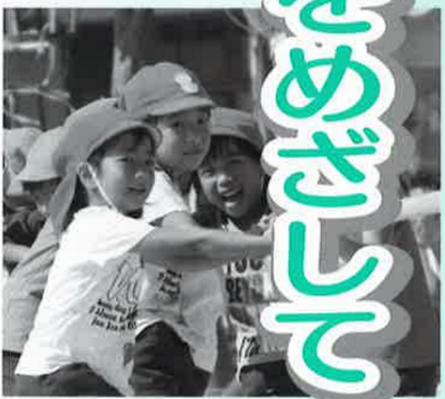
まちづくりを進めるにあたっては、市役所職員は市行政を進める第一線の担い手として、これまで以上に市民に身近で、信頼されなければなりません。私がかねてから、市政の基本は常に「現場」にあると考え、でき

「市政運営の三原則」

- (1) クリーンでオープン・開かれた市政
- (2) 公平で平等、格差のない市政
- (3) みんなで参加する市民目線の市政

座右の銘 「至誠通天」

誠実に努力すれば、天も味方をし、よい結果がでる



だけ市政に反映させるように、様々な機会を設け、身近で種々の課題に触れさせていただきました。

こうした課題は、直ちに取られるものから、じっくりと時間をかけて取り組まなければならぬものまで様々です。何かを実施・改革する時、単に事業の縮小や節約を目指すのではなく、小さな投資でも大きな効果を得られるような行政構造の確立と、市民やまちの利益となる、本場に市が取り組まなければならない仕事なのかを職員自らが現場から見極め、使命感と情熱を持ってやり抜く気構えを、全職員に浸透させ果敢に取り組む職場づくりを行ってまいります。

昨年の度重なる不祥事に際しましては、「徹底的に今までの行政の膿を出し切り、垢、ほこりを洗い流し、あらゆる古いしがらみを断ち切つていただきたい」と述べ、この間、不祥事再発防止委員会の設置やコンプライアンス推進本部の立ち上げ、再発防止について職場で話し合う機会の設定や、公務員の倫理研修も全庁挙げて行いました。今後は、不祥事再発防止委員会からの提案を踏まえて、「長浜市を愛し、常に高潔であれ」をモットーとして、市民から信頼される市役所づくりをめざして全職員一丸になつて取り組んでいきます。

組織機構の見直し

特に旧伊香郡地域の皆様は、高齢化や過疎化が進む中、将来に不安や心配を多く感じられています。また、旧伊香郡の面積は市の3分の2を占めており、その北部振興対策はたいへん重要な課題です。そのため、この4月から、旧伊香郡地域を所管する「北部振興局」を設置し、しっかりと北部振興対策を講じてまいります。

また、合併2年目となる市政を着実に推進し、その成果をあげていくために、これまで以上に市の成長戦略や政策調整を進め、機動的で効果的な施策が実施できるように、市長直轄の部署として「市長戦略室」を設置するとともに、昨年4月から設置したスタートした「新市政戦略会議」をさらに充実、レベルアップしてまいります。この戦略会議は、市政の重要課題を縦割りではなく横断的に、集中的に議論しスピード感を高めて、市政の方針を決定する狙いであり

今後とも、より効率的で、市民の皆さんのご期待にお応えできるように組織体制へと見直しを進めてまいります。



▲座ぶとん会議の様子

市民と行政との『協働・連携』によるまちづくり

【生活を守る】

今年は、例年になく大雪となりました。余呉町中河内では3メートルを超える積雪となるなど「56・59豪雪」を思わせるものとなりました。また、3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震では大勢の方が被災されました。お見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げます。

近年は世界各地で異常気象現象や地震、火山の噴火などが発生しています。多くの人が生命や財産を失う悲惨な災害も発生していることから、現在策定中の「地域防災計画」の改定を一刻も早く進めるとともに、改めて危機管理の徹底、危険を予知し被害を防ぐための日常の備え、地域ぐるみの連帯した取組みの重要性を噛みしめて、安全に安心して暮らせるまちづくりを進めます。



【江・浅井三姉妹博覧会】

「江・浅井三姉妹博覧会」が開幕しました。おかげさまで、すでに15万人を超える方々が、3つのパビリオンにお越しいただき、順調なスタートを切ることができました。これも、運営委員やボランティアの市民の皆様が汗をかき、ご苦勞をさせていただきましたことに、心から感謝いたします。

市民の皆様とともに、この博覧会を盛り上げ長浜を全国に発信しましょう。そして、全国からの観光客が安心して快適に観光できるように、地域の皆さんがホスピタリティ（おもてなし）の心で接していただき、湖北人としての誠実で温かみのある人間味を大いに発揮して、観光客を温かく迎え入れてくださることを切に希望するものです。市民の皆様が「市民力」、「協働力」、「自立力」に懸け、期待し、ともに協力して「将来に夢を持てる、元気な長浜市」にしていきたいと考えています。

長浜市長 藤井勇治